



環境に配慮した「国産竹 100%」の包装紙。

10 月から和菓子屋・叶 匠壽庵で導入いたします

滋賀県の和菓子屋 株式会社 叶 匠壽庵(かのう しょうじゅあん、本社:滋賀県大津市、代表取締役社長:芝田 冬樹)は、2025 年 10 月より順次、叶 匠壽庵全店およびオンラインショップにおいて詰合せ等に使用している包装紙を、国産竹を 100%使用した「竹紙 100 ナチュラル」の包装紙に切り替えます。これは、竹林整備で伐採されながらも処分に困っていた日本の竹を活用した「竹紙」を使用することで、環境保全を図る取り組みです。

詳細:<https://kanou.com/gnaviplus/news/detail/20250821120612/>



「竹紙 100 ナチュラル」の包装紙

■伐採された竹を有効活用、国産竹 100%の包装紙

叶 匠壽庵では創業当初より、やわらかな風合いのあるオリジナルの包装紙を使い続けてきました。琵琶湖とそれを取り囲む地をモチーフにしたデザインに、近江が舞台となる額田王と大海人皇子の万葉歌が添えられています。故郷・滋賀をあらわしている従来のデザインはそのままに、「竹紙」と「植物油インキ」を使用した包装紙に変更いたします。

「竹紙」には、竹林整備で伐採されながら処分に困っていた日本の竹を持続的かつ大量に活用することで、里山の保全や地域経済の活性化につながり、社会的課題の解決を図る役割があります。

このたびは 匠壽庵では、国産竹を 100%使用した「竹紙 100 ナチュラル」を新たな包装紙に採用。2025 年 10 月 1 日以降、全店および公式オンラインショップ等では、従来の包装紙が無くなり次第順次新包装紙へと切り替わります。また、包装紙変更に伴い、紐かけ等の包装形態も変更を予定しています。

これによって、社会の一端を担う企業として環境保全の一助となるよう取り組んでまいります。



約 50 年に渡り愛されてきた
オリジナル包装紙

なお、包装紙の裏面には、使用後も再利用できるようにとデザインされてきた封筒の裁断線に加えて、便箋や一筆箋、ポチ袋の裁断線も新たに印刷いたしました。ぜひご活用ください。

紙袋使用における環境への取り組み

叶 匠壽庵では、2020 年 11 月 1 日より紙製手提げ袋の有料化を実施。お客様にはマイバッグ持参などの「エシカル消費」へのご理解とご協力をお願いするとともに、その売上金額の一部を琵琶湖の水を守る環境保全寄附金として地元・大津市に寄付してきました。

そして現在使用している 5 種類の手提げ袋すべてに「古紙配合率 30%の紙」と「植物性インキ」を使用する取り組みを、2025 年 5 月より順次行っております。

※2020 年以降ビニール袋は廃止しております

本社・寿長生の郷は環境省「自然共生サイト」に認定、「しが生物多様性取組認証」に認証されています。これからも自然と共生しながら菓子づくりに取り組んでまいります。

株式会社 叶 匠壽庵 概要

- (1) 商号 : 株式会社 叶 匠壽庵
- (2) 代表者 : 代表取締役社長 芝田 冬樹
- (3) 本社所在地 : 滋賀県大津市大石龍門 4 丁目 2-1
- (4) 設立年月 : 1958 年 9 月
- (5) 主な事業の内容 : 和洋菓子の製造・販売、一般飲食業
- (6) 資本金 : 7,980 万円

〈本リリースに関するお問い合わせ〉

株式会社 叶 匠壽庵 総務部 秘書広報課(関野・池田)

TEL(本社) : 077-546-3477 E-mail : koho@kanou.com (秘書広報課共有)